

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

今回の題字は、^{しん で えい と}新出瑛斗くん（根野小学校6年生）です。



表紙の絵は「平成24年度文化財を描こう」文化財保護審議会長賞

森岡 ^{もりおか} 雅 ^{みやび}さん（当時船佐小学校6年生）「つのだる」です。

12月定例会.....2~3

常任委員会報告.....6~8

一問一答
14人が**市政を問う**.....9~15

あんな こんな
地域のかがやき.....20

第40号

2014(平成26)年2月1日発行

可
決

臨時交付金基金創設 に伴う関係条例の整理に関する条例 画の変更・新市建設計画の変更

12月定例会

12月定例会を12月9日～20日までの会期で開催しました。

一般会計・特別会計など9会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(補正予算審査は4～5ページに掲載)

各常任委員会では、付託された議案や要望審査並びに所管事務調査を実施しました。(各常任委員会の審査は6～8ページに掲載)

本定例会に付議された24議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、14人が市政を問いました。(9～15ページに掲載)

議案第87号

税条例の一部を改正する条例

■ 質疑

熊高 コンビニでの税納付は。
新川市民部長 徴収方法の変更は、全体の業務に関わり、課題がある。

議案第91号

社会教育委員条例の一部を改正する条例

■ 質疑

熊高 一部改正で、どのように変わるのか。
沖野教育次長 第三次地方分権一括法に伴う改正。生涯学習に通じた委員の委嘱を明文化したものの。



条例改正等

財源一時留保 ☆ 地域の元気

社会保障の安定財源確保 ☆ 消費税法等の一部改正

追加事業 ☆ 過疎地域自立促進計

■ 諮問 (1件)

人権擁護委員の推薦
松原美和子さん

吉田町常友

承認

■ 提出議案 (3件)

● 発議第8号

平成26年度地方財政の確立に関する意見書について

● 発議第9号

軽減税率適用など消費増税に向けた生活支援策に関する意見書について

● 発議第10号

PPP交渉に関する意見書について

討論なし

全員賛成

(付議された案件)

条例関係

(新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正など)

○ 議案第80号 事務分掌条例の一部を改正する条例

○ 議案第81号 地域の元気臨時交付基金条例

○ 議案第84号 無線アクセス施設の設定及び管理運営に関する条例を廃止する条例

○ 議案第85号 無線アクセス施設管理運営基金条例を廃止する条例

○ 議案第86号 分担金等の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例

○ 議案第87号 税条例の一部を改正する条例

○ 議案第88号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○ 議案第89号 基幹集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例

○ 議案第90号 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○ 議案第91号 社会教育委員条例の一部を改正する条例

事業・予算関係

(計画の変更・補正予算など)

○ 議案第82号 過疎地域自立促進計画の変更について

○ 議案第83号 新市建設計画の変更について

○ 議案第92号 平成25年度一般会計補正予算(第3号)

○ 議案第93号 平成25年度特別会計補正予算(7会計)

○ 議案第100号 平成25年度水道事業会計補正予算(第3号)

光ネットワーク整備事業 など

☆災害復旧費 1億5380万円

☆お太助フォン安心ボタン設置 1100万円

イメージキャラクター(たかたん)作成など

可決



お太助フォンに安心ボタン設置(独り暮らしの高齢者対象)

予算決算常任委員会

12月9日の本会議で審査を付託された25年度一般会計・特別会計補正予算を、12月10日に委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 先川和幸
委員 議長を除く全議員

主な質疑

■総務部

Q 八千代支所の庁舎設計委託料が減額となっているが、支所の今後の方向性は。

A 国においては、交付税算定に支所を関連づける方向性が出されており、それらの動向を見ながら、次年度以降、公共施設のあり方や財政的なことも考慮し、総合的に検討していきたい。

■企画振興部

Q 工事委託料で、お太助フォンに導入する緊急通報システムの内容は。

A 独り暮らしの高齢者を対象として、お太助フォンに「安心ボタン」を設置し、消防本部と直結するシステムを構築するもので、約300人

■福祉保健部

Q 生活保護扶助費の減額に係る対象人数減少等の内容と、今後の見込み数はどうなるか。

A 本市の場合、保護廃止件数の増加に対し、保護開始件数が予想以上に減少していることが大きな特徴となっております。

の対象者を見込んでいます。

保護世帯数と人員が見込みより大幅に減少したこと、また、保護基準の変更が減額の主要要因となっている。今後の見込みは、減少傾向が顕著に出ているが、現在頭打ちの状況となっており、今までのような減少傾向とはならないと考えている。



25年度補正予算

一般会計

(総額 220億8192万円)

6億2976万円追加



みつや保育所

■福祉保健部

Q 指定管理保育所委託費の費目組み替えについて、指定管理料から補助費に替わっている理由と、今後はこの予算の流れでいくのか。

A 当初予算において、基本となる運営委託部分と、市単独で行っている延長保育に対する補助金を

同じ費目で支出していたが、補助金部分を負担金補助及び交付金で支出することが適当であるという見解により組み替えを行った。今後はこの考え方で、指定管理をしている「みつや保育所」の予算を組むことになる。

■産業振興部

Q 畜産振興事業費において、西部家畜診療所運営負担金が減額となっているが。

A 当初予算では昨年と同額の予算を計上していたが、本年度の西部家畜診療所運営協議会総会において、25年度から27年度までの向こう3年間の負担割合の見直しにより負担金が減少したため、予算を減額とした。

Q 農地・水保全管理支払交付金事業において、取り組み地域がないのは何が原因か。

A 農地・水保全管理支払交付金事業のうち、環境保全型農業直接支払交付金部分が、持続性の高い環境型農業の「エコファーマー」の認定を受ける必要がある



図書館パソコンのシステム変更

る。申請事務やかかる経費についてのハードルが高いため、各地区での取り組みができなかった。

A 効果が得られるか。セキュリティ対策による個人情報の保護及び安定的な運用ができる。

■教育委員会

Q 図書館運営事業のシステム変更によって、どのような



総務企画常任委員会

12月定例会で付託された議案3件、要望・要請2件を、12月16日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

- 事務分掌条例の一部を改正する条例
- 過疎地域自立促進計画の変更について
- 新市建設計画の変更について

委員長 山本 優
副委員長 石飛 慶久
委員 玉重 輝吉
水戸 眞悟
熊高 昌三
塚本 近

今後の財減不足に伴う積極的な組織機構改革

事務分掌条例一部改正

- 支所の「すぐやる係」を本庁「すぐやる課」に集約し、各支所に職員を駐在させる
- 市民生活課から環境生活課へ名称変更

■概要

組織機構の見直しに伴い、課の統廃合や新設及び、現在設置の課の名称を変更する。

■質疑

熊高 市全体の繁忙度をどのように見て、この組織機構の形になったのか。

沖野総務部長 今後交付金の減額などにより6年間で約35億円の財減不足が見込まれ、市の組織自体を絞っていく必要がある。高齢化社会に対し、福祉対策に力を入れる必要がある。反面、大型公共事業が終わってくるので建設関係の職員人数は減少する予定。



環境生活課に名称変更

過疎地域自立促進計画の変更

- 「道の駅整備事業」など5事業を追加。

新市建設計画の変更

- 計画期間を5年間延長し、「道の駅整備事業」を追加。

要望・要請

◎軽減税率適用など消費増税に向けた生活支援策に関する要望書

(要望者) 中国新聞社 など11団体

(要旨) 消費増税に際しては、基礎的食糧品などとともに、新聞、書籍といった知的財産にも軽減税率を適用するなど、きめ細かな生活支援策を講じること。

◎2014年度地方財政の確立に関する要請

(要請者) 広島県教職員組合・安芸高田市職員労働組合

(要旨) 地方においては、歳出削減努力、増大する地域の行政需要の対応に必死の努力を続けている。地方財政の充実・強化を求める。

【審査の経過】いずれの要望・要請も委員会で全員賛成で採択し、諸手続きを経て関係機関へ意見書を送付することとしました。

産業建設常任委員会

12月定例会で付託された議案はなく、12月18日に委員会を開き、所管事務調査を行いました。

(主な調査)

- 人・農地プランについて
- 空き家対策の進捗状況について
- 道の駅の進捗状況について

委員長
副委員長
委員

大下正幸
穴戸邦夫
久保慶子
先川和幸
秋田雅朝
藤井昌之

今後の予定

平成25年度以降

国土交通省及び安芸高田市：道の駅設置に係る協定書の締結
道の駅基本設計、国道54号交差点改良等設計、現地測量、用地調査等



道の駅・トイレ建物詳細設計、公安委員会交差点協議、用地買収・建物等移転補償等



用地買収・建物移転完了後、道の駅建物・交差点改良等工事着手



「道の駅（仮称）あきたかた」オープン

「道の駅」の進捗状況

道の駅に設置する施設（案）

安芸高田市		国土交通省
駐車場	地域情報・観光情報等	駐車場 トイレ 道路情報提供コーナー
産直市	提供コーナー	
レストラン	市観光協会	
イベントスペース	授乳室	
事務室	休憩スペース	
電気自動車充電設備	多目的スペース	
お太助ワゴン停留所	工業会製品展示 等	
防災施設（貯水施設、非常用発電機、災害時トイレ等）		



「道の駅位置図」ふれあいたかた産直市周辺(吉田町)

人・農地プラン

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」について、集落で話し合い、「集落の未来の設計図」を作っていくのが、人・農地プランです。24年度から25年9月末で39のプランができており、未作成地域で説明会が開催されています。

空き家対策の進捗状況

25年度の登録件数・利用希望者登録件数・利用希望者意向調査について、説明を受けました。委員から「空き家の実態調査に、地域の実情に詳しい市職員OBに協力してもらっては」との意見が出されました。

TPP交渉対策に関する要望

(提出者)
広島北部農業
協同組合

(要旨)

・自民党の「TPP対策に関する決議」
衆・参農林水産委員会
会で採択の「TPP協定交渉参加に関する決議」を遵守すること。

【審査の経過】

委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとしました。

一問一答

14人が市政を問う

宍戸 「地産地消」を中心とする食育の展開は。

教育長 給食センターにおける地場産物の活用を進め、地域食など積極的に取り入れ、食文化の継承を推進したい。



宍戸 邦夫
(無所属)

食育 地産地消による展開は教育長／地域食など積極的に導入

宍戸 栄養教諭の増員配置など、体制整備の方針は。

教育長 県教育委員会に栄養教諭配置の充実を要望する一方、栄養教諭や各学校の食育リーダー、給食センターの栄養士など協力して、食育の一層の推進に努める。

宍戸 「食育推進会議条例」を制定する考えは。

市長 今後の課題としたい。

宍戸 光ケーブルの更なる活用計画は。

市長 個人の生体情報を医師や保健師に伝える、IP血圧計の導入事業などを計画している。

下岡 公共施設や病院がある甲田町の中心地は。

下岡 保育所規模適正化推進計画は建築年次の古い順となっている。屋根に苔が生え老朽化が進んでいる甲田町内の保育所の計画は。

市長 甲田町3カ所は築30年以上経過し老朽化が激しく、また3歳未満児の保育に対応する為には、施設に限界があるので、慎重に検討する。



下岡 多美枝
(無所属)

老朽化した保育所

将来を見据えた保育所の建設を

市長／民設民営化も視野に入れながら検討する

心地の公民館跡地への保育所の建設は。

市長 公民館跡地も有力候補で、民設民営も視野に入れながら計画の立案に努めたい。



甲田中央公民館跡地の有効利用は

下岡 神楽東京公演をきっかけにJOC（日本オリンピック委員会）にはたらきかけ、神楽を広く世界に知らせては。

市長 JOC関係者に本市の神楽の魅力をPRしたい。

(その他の質問)

○消防・防災体制について

小児科医療の充実

JA吉田総合病院の小児科時間延長は

市長／JA・県・関係機関に働きかける



藤井 昌之 (無所属)

藤井 小児科医療の夜間・休日の充実は。**市長** 小児科の医師不足のため、24時間365日体制とした小児救急医療拠点病院は、広島県では「広島市立舟入病院」、「市立三次中央病院」、「厚生連尾道総合病院」の3ヶ所に集約された状況である。本市の中核病院であるJA吉田総合病院の小児科の充実のため、必要な支援を行っていく。



小児科医療の充実が望まれる

(その他の質問)

- ピロリ菌検査について
- ・中学生の検査費用の助成を。
- ・市の総合検診の項目に追加を。
- 学校教育について
- ・小学校の正常な教育環境ができているか。

バイオマス産業都市の構築は

市長／産業の創出と環境に優しく災害に強いまちづくりを目指す

再生可能エネルギー



石飛 慶久 (無所属)

石飛 太陽光発電の屋根貸し協定の手続きは。**市長** 弁護士と相談するなど、行政として協定を結んだ。**石飛** 屋根貸しの利益の還元は。

さまざまな再生可能エネルギー（参考）



農林水産省ホームページより

市長 特定財源にしたいが、現時点では一般財源に繰り入れる。

石飛 市の強靱化を踏まえた再生可能エネルギーは。**市長** 木質バイオマスは検討課題である。「森林未利用材利用促進協議会」を立ち上げ関連機関と

協議したい。

石飛 バイオマス産業都市の構築の可能性は。

市長 十分に検討する必要がある。一貫したシステムの構築など体系整備をし、その結果が産業都市・スマートシティに結びつく。

久保 地域での消防防災のかなめである消防隊員のうち、婦人消防隊の現況は。
市長 山田婦人消防隊は、市消防団員として任命されていない、地域内の自衛消防隊の位置づけ。消防団員の定数割れを懸念する中、女性団員の組織化は重要と考える。山田婦人消防隊には打診しているが、固辞されている。



久保 慶子
(無所属)

女性消防隊員の加入促進

任意組織から団員への位置づけは

市長／啓発活動等、役割分担を明確化

久保 固辞の理由はこれ以上の束縛や、勤めができないのはとの心配があるからで、役割を明確化

すれば、推進できるのでは。
市長 啓発活動など女性の立場でできることを明確にし、理解してもらいたい。団員であれば、活動中の事故は公務災害として対応できる。



婦人消防隊も参加の出初式

金行 アベノミクスで大手企業は上向いているが、本市の農業や地域産業ではまだ効果がでていない。また、26年より交付税の合併特例加算も減少する中、予算編成の基本方針は。



金行 哲昭
(政友会)

予算編成

基本方針は

市長／引き続き行政改革を推進

市長 中長期的な視点に立ち、第二次行財政改革をさらに踏み込んで進め、市民満足度を高める施策を考えていく。

金行 光ネット整備事業でお太助フォンが市内全域で稼働し、今後、福祉、医療、教育で都市部との格差の無いサービ

スが必要と考えるが。
市長 光ネットの活用により、地域の人材育成、特産品の販売、企業誘致による雇用、特に医療介護福祉や教育など、公共分野への貢献が期待され、特に地域医療を考えている。



利用拡大が期待されるお太助フォン

業務委託先に何を求めるのか

市長/今後国の動向を見極め、当面は直営で運営

地域包括支援センター



前重 昌敬 (絆)

前重 今後介護保険制度が見直しされる中、地域包括支援センターの業務委託先に、何を求めるのか。
市長 増大する事業量への対応、専門職の確保並びに、非常勤職員の勤務体制の



当面は直営で運営

整備と処遇改善等市民の利便性、公平・中立性を確保しつつ、民間へ業務委託する方向で検討していたが、介護保険制度を取り巻く状況が大きく変わりつつあるため、国の動向を見極めながら、当面は、直営で運営する。

前重 日本サッカー協会アカデミー誘致

の方向性は。
市長 アカデミー誘致は、広域的な協力も含めて、引き続き検討する。

(その他の質問)

○戦没者を追悼し平和を祈念する日について

○吉田老人福祉センター・吉田文化創造センターについて



先川 和幸 (無所属)

先川 市民農園の現在の利用状況は。

市長 市内2ヶ所の市民農園のうち、尾原農園は1区画年1万円、25区画中15区画を、向原農園は1区画年5千円で、42区画中30区画を貸し出している。収支は、使用料約24万円に対し、管理料は約86万円である。

先川 収支のバランスが取れていないが今後の取り組みは。

市長 芸備線の利活用も含め、施設の設置趣旨や地元の要望等も加味し検討する。

市民農園

尾原・向原ふれあい農園の今後は
市長/都市との交流を目指し今後も継続

先川 「向原生涯学習センターみらい」が完成し、今後の生涯学習活動の取り組みは。

教育長 今後はソフト面において、市民

ニーズに応じた学習機会の提供と、人材育成等の様々な現代的課題の充実に努める。



尾原ふれあい農園

熊高 総務省は合併した自治体の支所機能強化に向け、支援策を公表したが、具体的に。市長 自治体への財政支援として、支所数に応じた地方交付税を加算する方針。



熊高 昌三 (無所属)

支所

総務省の新たな支援策の内容は

市長／支所数に応じて地方交付税を加算

熊高 レンコン、コ

市長 方向性を示しつつ、市民による自主運営に行かざるを得ないと考える。

熊高 地域の文化センター等の運営を市民に委ねては。

本市の支所機能は現状維持を考えている。



支所機能を考慮した改修を検討中の八千代支所

熊高

市長 園芸福祉への認識は。市長 施策として調査研究を行っていき

熊高 園芸福祉への認識は。市長 施策として調査研究を行っていき

熊高 園芸福祉への認識は。市長 施策として調査研究を行っていき

玉重 26年度から31年度までの財政推計の収支が、約35億円マイナスと発表されたが、対応できるのか。市長 総人件費の抑制5億6千万円、内部管理費11億7千万円の削減、事務事業見直し10億3千万円、公営企業特別会計の経営健全化、公債費の抑制、受益者負担の見直し、その他歳入の確保等に対応していく。



玉重 輝吉 (無所属)

玉重 22年度から24年度までのここ3年間、年平均約3億3千万円の削減ペースであり、本

に削減が可能なのか。市長 この数字を掲げた以上、目算を持ってやっている。職員一丸となって達成しようとする。頑張っているの信用してもらいたい。

財政健全化

累積赤字推計約35億円
に対応できるのか
市長／目算を持ってやっている

平成25年9月現在 財政推計

(単位：百万円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26 ～ H31 収支合計
歳入計	20,394	20,053	18,350	17,305	17,030	16,077	
歳出計	20,079	20,014	18,698	18,273	18,040	17,590	
収支	315	39	▲348	▲968	▲1,010	▲1,513	▲3,485

未来創造事業

神楽を中心とする観光PRの展開の先は

市長／観光消費額の増加に伴う雇用の創出
ひいては人口減に歯止めをかける



玉井 直子
(無所属)

玉井 未来創造事業で進められている「神楽五色麺」のプロジェクトについて、経過と方向性は。

玉井 商品化になり、メニューとして出されているのだから、観光協会や商工会との横の連携を今以上に強めれば地域の活性化になるのでは。

市長 神楽をテーマにした商品開発を進め商品化に取り組み。グルメマップを作成し来訪者にPRする。参画事業者拡大を推進し、観光消費額の増加につなげたい。



市長 ふるさと応援の会や各種団体に働きかけ、啓発し、知名度を向上させたい。

(その他の質問)
○三人目の保育料の無料化について
○高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の補助について

将来展望の持てる施策展開は

地域農業

市長／所得向上につながる仕組みづくりで



秋田 雅朝
(政友会)

業に対処したい。

秋田 水田農業政策は転換期を迎えている。本市の将来を考慮した取り組みが必要と考えるが。

市長 農業経営の維持発展のため、国の動向を見極め、本市の実態を考慮して事



乳牛の借腹で生まれた受精卵牛
(冬期のため防寒着を着せて育成中)

秋田 畜産農業の現状では、支援策の充実が必要と考える。「受精卵移植事業」の支援を図られては。

市長 県の指導機関、和牛改良組合、酪農振興会の協力を得て、移植事業を実施し、産地維持を図る。

秋田 本市の農業が、持続可能な将来展望の持てる産業となるための施策展開については。

市長 視点を変えた取り組みも必要。総合的に農業所得向上につながる仕組みづくりが大切と考える。

山本 可部バイパスの開通により住宅地の需要が増大すると考えるが、上根グラウンドを宅地として活用する計画は。また、住民に十分な説明と理解を得る必要があると思うが。

市長 地域の要望で農村公園として存続を検討していたが、地元の理解を得るなかで、人口減少に対応する施策に利用したい。



活用が望まれる上根グラウンド(八千代町)

上根グラウンド

人口増加対策としての活用計画は

市長/地元の理解を得ながら検討



山本 優 (絆)

山本 財政が厳しくなる中での機構改革で、自然資源活用についての専門的部署が必要ではないか。

市長 財政対策としては主に「第三次職

員定員適正化計画」で対応。自然資源活用に対しては、改称する環境生活課で対応する。

山本 緊急時屋外用として消防用無線施設が利用できないか。

市長 防災無線は撤去の予定。災害時には消防団・自主防災組織を活用したい。

青原 お太助フォンの屋外スピーカー設置は。

市長 市民の方々が教育や福祉をちよつとやめてスピーカーを作ってくれと言われるなら考えるが、現段階ではそこまで



青原 敏治 (あきの会)

お太助フォン

屋外スピーカーは

市長/現段階は考えていない

考えていない。費用対効果は非常に大事。必要ないと言っているわけではないが、皆さんに公平なサービスをするためには今のところは遠慮してもらいたいという判断である。

青原 文化教室について、施設使用料の統一は。



防災無線として活用していた屋外スピーカー

教育長 自主的な活動ということで補助金を廃止し、使用料も統一した。文化活動の停滞につながる心配もあるので、減免規定を定め適切な対応ができるよう努力している。不公平感があるのではないかという点については至急調査をしたい。

安芸高田市民憲章 制定

第3回臨時会を11月27日に開催し、安芸高田市民憲章について審議し、可決しました。



市制施行10周年記念式典での発表風景(12月1日)

安芸高田市民憲章

(前文)

わたしたちは、安芸高田市民であることに誇りと責任を持ち、市創設の基本理念である「人 輝く・安芸高田」の実現をめざしてこの憲章を定めます。

(条文)

わたしたち安芸高田市民は、

- 一、歴史・文化・自然を大切にし、未来へつないでいきます。
- 一、先人を^{たつと}尊び心豊かな人間形成をめざします。
- 一、「三矢の訓」で心をひとつに「協働のまちづくり」にはげみます。
- 一、誰もが健康で、きれいな住みやすいまちをつくります。
- 一、笑顔あふれ、安心安全に暮らせるまちにします。

安芸高田市
公式マスコットキャラクター
「たかたん」



平成 25 年度広島県市議会議長会主催 北部ブロック議員研修会開催

県北3市（三次市・庄原市・安芸高田市）



25年10月23日(水) 14:30～
安芸高田市民文化センター
(クリスタルアーヂョ)

研修目的

議員の資質の向上
3市議員の情報交換

講演

演題 「経済と人を呼び込む
田舎力と地域力」

講師 食環境ジャーナリスト
かなまる ひろみ
金丸 弘美



視察

安芸高田市歴史民俗博物館

研修成果

3市はともに中山間地で急激に人口減が進む中で、地域の活性化を図ることは共通の課題です。

今回の講演で、全国の山間地で活力あるところは

- ・ 特産品だけでなく、景観、農村民泊、農家レストラン、観光、環境政策など複合体系で売り出す形になっている。
- ・ 大量に人を送り込む観光は衰退し始めている。景観とおいしい食があるところに人がきている。
- ・ 農村風景を生かし、そこに地域の食文化がある。

など、地域の活性化は、地域を知り、特性を知ることが大切ということ学ぶなど、歴史民俗博物館の視察を含め、大変意義ある研修会となりました。

24年度決算認定

ごみの量は微増傾向

25年12月25日、芸北広域環境施設組合議会の定例会が北広島町で開催され、24年度決算の歳入総額5億8797万円、歳出総額5億3544万円を認定しました。

(主な歳入)

負担金

○安芸高田市

2億38337万円

○北広島町

1億3145万円

交付税

1502万円

使用料・手数料

1億1425万円

雑入(資源化物売却代他)

1907万円

(主な歳出)

総務費

8165万円

衛生費(ごみ処理費)

4億5135万円

借入金返済額

202万円

監査委員意見

(抜粋)

ここ数年、ごみ量も微増傾向にあり、原因把握と共に効果的な減量施策が必要である。

住民組織と協働して、ごみの減量化に努められたい。

主な質疑

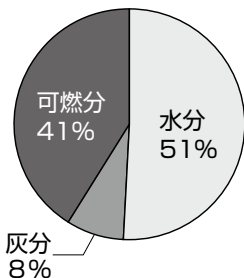
Q ごみが微増傾向にある中で、燃えるごみのうち生ごみの搬入率は。また、ごみを減らすための考えは。

A 燃えるごみの中で生ごみの占める割合は約15%です。生ごみのほとんどが水分です。水分を切るだけで、重量はかなり減ります。



ごみは分ければ資源

可燃ごみの重量割合



ごみの処理にかかった経費

区分	可燃ごみ	不燃ごみ等	粗大ごみ
1kg 当たり経費	26.76円		114.81円
1袋当たり平均重量	5.3kg	7.4kg	9.0kg
1袋当たり経費	142円	850円	1,033円
受益者負担額	65円	100円	400円
市町負担額	77円	750円	633円

組合議会議員

石飛 慶久
大下 正幸
穴戸 邦夫
青原 敏治
塚本 近

可燃ごみの51%は水分です

生ごみは水分を切って出しましょう!

議会のうごき 25年10月～12月の議会の主な活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
10	1	火	第3回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決
	10	木	議会広報特別委員会	議会だより第39号の編纂
	17	木	議会広報特別委員会	議会だより第39号の編纂
	18	金	全員協議会	市長報告、議長報告等
	22	火	議会広報特別委員会	議会だより第39号の編纂
	23	水	北部ブロック議員研修会	県北3市の議員研修会（講演会、視察）
	29	火	議会広報特別委員会	議会だより第39号の編纂
11	11	月	議会運営委員会	第4回定例会の運営について
	20	水	全員協議会	市長報告、議長報告等
			議会運営委員会	第3回臨時会の開催について
	27	水	第3回臨時会	安芸高田市民憲章について
全員協議会			総合計画の議会の取り組み、議会中継	
12	2	月	議会運営委員会	第4回定例会の運営、議会報告会まとめ
	9	月	第4回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	10	火	予算決算常任委員会	25年度一般会計・特別会計補正予算の審査
	11～12		第4回定例会（一般質問）	質問者14人
	16	月	総務企画常任委員会	付託議案の審査、要望・要請審査ほか
	17	火	文教厚生常任委員会	保育所規模適正化の進捗状況調査ほか
	18	水	産業建設常任委員会	要望審査、道の駅の調査ほか
	19	木	議会運営委員会	第4回定例会の運営について
	20	金	第4回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決
全員協議会			総合計画の議会の取組み、議会中継ほか	

■26年第1回定例会は2月下旬～3月中旬に開催を予定しています。

※ 詳細は、通知広報・お太助フォン・市のホームページでお知らせいたします。



私だけだろうか？
そのように感じるのはい。

それが為、言葉使いが慎重になるのか。議会だよりを見ている市民に納得出来るよう議論してほしい。

終わりに消化不良となる。政治家の発言は重し。それが為、言葉使いが慎重になるのか。議会だよりを見ている市民に納得出来るよう議論してほしい。

傍聴して思う事に、答弁として前向きに考える又検討する等、形式的な答弁で終わる事が多々あるように思う。

八千代町
津田好弘さん

傍聴記

地域のかがやき



あきたかた 人輝く・安芸高田
 議会だより 第40号 2014(平成26)年2月1日発行 発行所:安芸高田市議会 編集:安芸高田市議会広報特別委員会 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL(0826)42-5621 FAX(0826)47-0250 http://www.akitakata.jp/

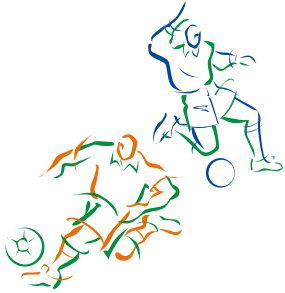


2連覇おめでとう!

優勝決定

12月9日
 クリスタルアーシヨ

サンフレッチェ広島は、J1リーグ2連覇を果たしました。安芸高田市でもパブリックビューイングを催し、多くの市民の大声援で盛り上がりました。



駅伝 11月30日 吉田運動公園

安芸高田市出身の、故川村毅先生のご遺志を引き継ぎ開催された「第一回川村毅杯安芸高田市小学校駅伝競走大会」。



めざせ! 箱根駅伝



**安芸高田
 市を誇れ
 来! 再来!**

サンフレッチェ広島の前にした人、画面で共に喜んだ人、それぞれの胸に温かいものがこみあげ、ま

ちが元気になりました。駅伝では、13校22チームの小学生が、仲間と力を合わせて挑むことを学びました。

共に、明日の安芸高田市の大きな力となることでしょう。

編集後記

6町が運命をともし、希望をもって誕生して10年。安芸高田市市制施行10周年記念式典が昨年12月1日、クリスタルアーシヨで行われました。10年ひと昔とも言えます。

皆様お一人おひとりが、合併当時をなつかしく振り返っておられるのではないのでしょうか。

まちづくりにとどのようにかかわり、情勢変化にどのように対応してきたのか、いま静かに思い起こしてみたいものです。

さて、次のステップに向けスタートの年。決意新たに、これから議会活動状況を読みやすく、わかりやすい「議会だより」としてお伝えしてまいります。

議会だよりは皆様のもの、ご意見感想をお待ちしています。(穴戸 邦夫)

〈発行責任者〉

議長 塚本 近

〈議会広報特別委員会〉

委員長 石飛 慶久
 副委員長 穴戸 邦夫
 委員 玉重 輝吉
 玉井 直子
 久保 慶子
 前重 昌敬